

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2000-515570(P2000-515570A)

【公表日】平成12年11月21日(2000.11.21)

【出願番号】特願平10-506315

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 67/02

B 6 5 D 1/09

C 0 8 G 63/12

C 0 8 G 63/78

C 0 8 J 5/18

D 0 1 F 6/84

【F I】

C 0 8 L 67/02

C 0 8 G 63/12

C 0 8 G 63/78

C 0 8 J 5/18 C F D

D 0 1 F 6/84 3 0 1 E

B 6 5 D 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月25日(2004.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成16年 6月25日



特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成10年 特許願 第506315号

## 2. 補正をする者

名 称 ビーピー・コーポレーション・ノース・アメリカ・  
インコーポレーテッド

## 3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル 206区  
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

別紙の通り

方 式 査 査



(別紙)

I 本願請求の範囲を以下のように補正する。

請求の範囲

1. テレフタレート部分と、8～18モル%のイソフタレート部分と、を含むポリエステル組成物の伸長誘導結晶化により形成された、少なくとも1.362 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有するポリエステルボトル。
2. 前記ポリエステルボトルは、1.362 gm/cm<sup>3</sup>～1.380 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有する、請求項1に記載のポリエステルボトル。
3. 130 cm未満の延伸指数を有する、請求項1に記載のポリエステルボトル。
4. 水、飲料、炭酸水及び炭酸飲料からなる群より選択される液体を含む、請求項1に記載のポリエステルボトル。
5. テレフタレート部分と、5.3モル%～8モル%のイソフタレート及び2.7モル%～10.7モル%の2,6-ナフタレートからなる群より選択される第2の部分8～18モル%と、を含むポリエステル組成物の伸長誘導結晶化用のポリエステルプレフォームであって、該プレフォームの1グラムあたり8マイクログラム未満のアセチルアルデヒドレベルを有するポリエステルプレフォーム。
6. テレフタレート部分と、8～18モル%のイソフタレート部分と、を含むポリエステル組成物からなるポリエステル容器であって、容器容積の1リットルあたり8マイクログラム未満のアセトアルデヒドレベルを有する、ポリエステル容器。
7. テレフタレート部分と、5.3モル%～8モル%のイソフタレート及び2.7モル%～10.7モル%の2,6-ナフタレートからなる群より選択される第2の部分8～18モル%と、を含むポリエステル組成物からなるポリエステル容器であって、該ポリエステル容器は少なくとも1.362 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有する、ポリエステル容器。

8. テレフタレート部分と、8～18モル%のイソフタレート部分と、を含むポリエステル組成物の伸長誘導結晶化及び熱結晶化により形成された、少なくとも1.362 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有するポリエステルボトル。
9. 前記ポリエステルボトルは、1.362 gm/cm<sup>3</sup>～1.380 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有する、請求項8に記載のポリエステルボトル。
10. テレフタレート部分と、5.3モル%～8モル%のイソフタレート及び2.7モル%～10.7モル%の2,6-ナフタレートからなる群より選択される第2の部分8～18モル%と、を含むポリエステル組成物の伸張誘電結晶化により形成され、少なくとも1.362 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有する、ポリエステルボトル。
11. テレフタレート部分と、5.3モル%～8モル%のイソフタレート及び2.7モル%～10.7モル%の2,6-ナフタレートからなる群より選択される第2の部分8～18モル%と、を含むポリエステル組成物の伸張誘電結晶化及び熱結晶化により形成され、少なくとも1.362 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有する、ポリエステルボトル。
12. (a) テレフタレート部分と、イソフタレートを含む第2の部分8～18モル%と、を含むポリエステル組成物を準備する工程と、  
(b) 成形手段を準備する工程と、  
(c) 該成形手段を用いて、該ポリエステル組成物を伸長誘導結晶化に供して、該ポリエステル組成物を少なくとも1.362 gm/cm<sup>3</sup>の密度を有するポリエステルボトルに形成する工程と、  
を含むポリエステルの製法。
13. 前記ポリエステル組成物を前記伸長誘導結晶化の後、熱結晶化に供する成形手段を用いる、請求項12に記載の製法。
14. 前記成形手段は、容器延伸ブロー成形装置である、請求項12に記載の製法。
15. (a) テレフタレート部分と、5.3モル%～8モル%のイソフタレート及び2.7モル%～10.7モル%の2,6-ナフタレートからなる群より選択される第2の部分8～18モル%と、を含むポリエステル組成物

を準備する工程と、

(b) 成形手段を準備する工程と、

(c) 該成形手段を用いて、該ポリエステル組成物を伸長誘導結晶化に供して、該ポリエステル組成物を少なくとも  $1.362 \text{ gm/cm}^3$  の密度を有するポリエステルボトルに形成する工程と、

を含むポリエステルボトルの製法。

16. 前記ポリエステル組成物を前記伸長誘導結晶化の後、熱結晶化に供する成形手段を用いる、請求項15に記載の製法。

17. 前記成形手段は、容器延伸ブロー成形装置である、請求項15に記載の製法。